

# 井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。  
16ページに掲載している広報ク  
イズの答えと一緒に、気ままなひ  
とこと、ちょっと言いたいひとこ  
とを、お待ちしております。

## 読者の伝言板



● 今年の豪雪は大変ですが、埋まった車を押ししたり押されたり、いざという時の助け合いに心が温まります。でも、春が待ち遠しいです。

(新屋の姫さん 75歳・新屋)

● 毎日の雪との戦いに負けそう！

(保坂久治さん 75歳・土崎)

● 雪に閉じ込められ、春が待ち遠しいこの頃、運動不足でメタボが気になります。広報あきた1月18日号11ページの記事「知って役立つメタボ事情」でおすすめている「一汁三菜」を実践してダイエットしたいと思います。

(山王四輔さん 57歳・山王)

● 太平山三吉神社の梵天祭を見に行きました。手形に生まれ育って40数年。梵天こそ手形の年始めです。ただ、喧嘩梵天の名の通り、昔は町内を出るとすぐに先陣争いで喧嘩だったのが今は喧嘩禁止。安全管理のためかもしれませんが、古き風習が廃れていくのは寂しいと思いました。

(かもしかさん 48歳・手形)

● (広報あきた1月18日号2)

ページを見て)地域包括支援センターの存在を初めて知りました！ 地域にこのようなサービスがあると心強いです。いざという時、利用させていただけます。

(びぶーさん 38歳・仁井田)

● 60歳代は健康で病気知らずでしたが、70歳代に入っただけで、病気をしてみました。私には縁の遠い話とと思っていましたが、年を重ねることに(広報あきたに載っていた)地域包括支援センターに相談することもあろうかと思えます。老いることは嫌ですね。

(佐々木容子さん 73歳・四ツ小屋)

● ごみつて本当に減らせるんですね！ 自分でもびつくりしています。最初は単にごみ袋の値段が高くなるから仕方なく少しずつ頑張っていたのですが、だんだんごみを少なくすることが楽しくなってきました。家族(特に娘と孫)も協力してくれます。頼もしい限りです。

(紫式部さん 59歳・飯島)

● 年末にエリアなかいちに足

## 地域のお話 おしえて!!

### 上新城小又に伝わる“なまはげ” 農家民宿で親子感動体験！

上新城小又では、毎年1月15日に地域の長男たちがなまはげに扮して各家を回る行事が約100年前から続けられています。今年は、同地区の農家民宿“重松の家”でその体験イベントが開かれ、5家族15人が参加。餅つきやおいしい晩ご飯を楽しんでいると、「ウォー、ウォー！」という大きな声とともに、なまはげたちが部屋に飛び込んで来ました。暴れるなまはげに子どもたちは号泣。でも最後は、みんな良い子になりますときちんと約束できました。

県外出身の増田孝子(千秋)さんは「娘は怖くて泣いて、私はなまはげを生で見た感動で泣いてしまいました」と興奮気味。重松の家の佐藤重博さんは「地域の伝統をみなさんに楽しんでもらえて良かった」と笑顔で話してくれました。



なまはげの迫力に子どもは号泣、大人は笑顔



最後はみんなニッコリ



# おしゃべりかわらばん



1月下旬、市内の全小学校で「雪国防災訓練」が行われました。避難訓練などを通して、積雪時の災害発生への対応を確認しました。

**準備はいつでも万全に！  
雪の中で防災訓練**



佐賀祐奈さん(豊岩小6年)…消火訓練を体験

消火訓練(上の写真)は初体験。消火器が重かったけど、うまくできました。万が一の時も訓練どおりに消火したいです。雪と長靴のせいで歩きにくくて、もし冬に災害が起きたら、もっと注意しないとイケないなと思いました。



加賀谷響生(ひびき)さん(寺内小6年)…高台への避難を体験

雪ですべりやすく大変だったけど、登校する時いつも見守ってくれるボランティアさん(寺内小学区地域安全プロジェクトのみなさん)がいてくれて心強かったです。津波がきたら高い所に避難、今後に生かしたいです！

## 時速300<sup>キロ</sup>でも快適

新型の秋田新幹線こまちに試乗しました。時速300<sup>キロ</sup>のスピードでも車体があまり揺れず、乗り心地が良いのに感動しました。秋田に来る観光客のみなさんにも、こまちの乗り心地と秋田の風景を楽しんでほしいですね。



西村悠子さん(秋田商工会議所女性会会長)…スーパーこまち試乗会で(1月25日)



“スーパーこまち”  
待望のデビューは  
3月16日です



斉藤茜さん、こまちちゃん…西部の第7回わくわく子どもデーで(1月26日)

## リズム遊びでこきげん！

普段は、西部の子育て交流ひろばで遊んでいます。今回初めてこのイベントに参加しました。たくさんのお子さんと一緒にリズムにのって踊ったり、かけっこしたり。いつもと違う雰囲気がいい刺激になったかな。



1月17日、「市長ふれあいトークin転勤奥様教室」を開催しました。穂積市長と参加したみなさんが、市政について和やかに意見を交換しました。

を運んだところ、光のイルミネーションがとてもきれいでした。(新秋田県立美術館の)スタジオジブリ・レイアウトもあり、とてもにぎわっていましたが、中心市街地が本当に変わることができるかどうかは今年が勝負だと思えます。今年もさまざまなイベントが開催されることを期待しています  
(スノーマンさん 43歳・山王)  
●もうすぐ初めての出産です。広報に載っている子育てのイベントなどに参加するの  
(大福ママさん 26歳・茨島)

## 係からひとこと

今年の冬は、自宅の雪かきを何度したか分かりません。雪は空から平等に降りますから、みなさんも同じだと思います。そんな中、「今日の朝も家(会社)の雪を寄せてきたんだよなあ」と笑いながら除雪ボランティアに励むみなさんを取材しました(2・3ページ)。汗をかきながら、笑顔で雪をひとかき。そしてまた、汗をひとかき、雪をひとかき…。カメラを撮影する手がかじかむ寒さの中でも、雪国ならではの人の優しいつながりに気持ちもほんわか温かくなりました(直樹)



## 下浜羽川町内会が津波警報サイレンを設置

下浜羽川町内会自主防災隊では、住民にとってより安全安心な環境を整えるため、町内に津波警報サイレンを設置しました。

これは、(財)自治総合センターが実施する宝くじの収入による助成事業を活用したもので、地域防災力の向上に大きく役立っています。防災安全対策課 ☎(866)2021

